※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	実習（ＨＳ）	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習の作業を通して色々な工業分野の技術を習得し、新しい技術に自分から対応できる能力と態度を育てる。

2　学習の到達目標

実習作業を通して各専門分野の基礎的な技術を総合的に習得する。技術革新にも自ら対応できる能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ものつくりに関する工業技術に興味･関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的･実践的な態度を身につけている。	ものつくりに関する工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	ものつくりに関する工業の各分野に関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境にも配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	ものつくりに関する工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境･資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	①課題および作品の出来映え・早さ等にもとづいて評価する。 ②欠課の場合も、補習等を行い、作品を提出させることを原則とする。	①授業中の注意力･熱意の程度で評価する。 ②授業中の態度を評価する。	項目ごとにチェック表を作成し評価する。	指導内容のまとめとして、ペーパーテスト、レポート等により評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

※令和３年度以前入学生用

パート1	ＣＡＤⅡ	CAD製図概要 ・ 実技練習課題 基礎練習課題(52問) 課題(20問) 総合課題(19問) ・初期CAD検定実技課題対策	○ ○ ◎	○ ○ ○	 ◎	○ ○ ◎	a: ＣＡＤに興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: ＣＡＤに関する正しい思考・判断ができているか。 c: ＣＡＤによる作品が正確に作成できる。 d: ＣＡＤの意義や役割を理解しているか。	出席 作品 授業態度
パート2	マシニングセンター	・NC装置・ﾏｼﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰの概要 ・ﾏｼﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ基礎 ・NCプログラム基礎 ・ﾏｼﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ操作 ・製作実習 デザインプレートの製作	○ ○ ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ○	 ◎	○ ○ ○ ○ ◎	a: ﾏｼﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰに興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: ﾏｼﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰに関する正しい思考・判断ができているか。 c: 作品が正確に作成できる。 d: ＮＣ装置の意義や役割を理解しているか。	出席 作品 授業態度 安全な姿・形
パート3	木工Ⅱ	ミニベンチの製作 ・製作方法の説明、 各パーツの図面作成 ・工具の名称と 取り扱い方法。 ・各パーツの作製 ・各パーツの組み立て、 仕上げ研磨および塗装	 ◎ ○ ○ ◎	 ○ ○ ○ ◎	 ◎ ◎ ◎	 ○ ○ ○ ○	a: 木工製作に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: 木工加工に関する正しい思考・判断ができているか。 c: ミニベンチが正確に作成できる。 d: 木工の意義や役割を理解しているか。	出席 作品 授業態度 安全な姿・形
パート4	電気計測	測定量の取扱い 電気計測の基礎 基礎量の測定	○	○	◎	○	・測定という用語、標準器、誤差、誤差率の計算について理解させる。 ・永久磁石可動コイル形計器、可動鉄片形計器、整流形計器などの動作原理について理解させる。 ・交流ブリッジの原理、電力・電力量・周波数の測定原理、オシロスコープの原理について理解させる。	素点 授業態度 提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。